

学校	学科	班	各班のテーマ	各班の仮説
八戸商業高等学校 「あおもり創造学」 八商発！郷土愛 ～地域と共に～	商業科 3年1組	1	進化する故郷の味 ～南部せんべい普及戦略～	・ 素朴な南部せんべいは若年層にあまり馴染みがないのではないかと考えられるため、南部せんべいを可愛らしく食べやすくアレンジすれば、若年層に手に取ってもらえるのではないか。
		2	菱刺しの魅力を次世代に伝えよう	・ 南部地方の伝統工芸品の一つである菱刺しの商品を高校生が作り、地域の人に手に取ってもらい、さらに菱刺しの魅力を伝えることで菱刺しを知る人が増えるのではないか。
		3	いかずきんズ広め隊	・ 八戸市のご当地キャラクター「いかずきんズ」の動画をアップロードし、SNSを使って全国に広めることで、県内外からの観光客数を増やすことができるのではないか。
		4	神社をPR	・ 八戸の人気の観光地である蕪嶋神社でクイズラリーを開催し八戸や神社の魅力を知ってもらうことで、さらなる観光客増加に繋がるのではないか。
		5	こびりっこを広めよう！	・ こびりっこを現代風のスイーツにアレンジすることで、はじめより多くの若者に食べてもらえるのではないか。
		6	子育て支援で八戸を活性化	・ 八戸市内の子育て支援制度について市に提案することで、市内の子育て支援制度を発展させることができるのではないか。 ・ 八戸市内の子育て支援制度を広めることで、市民の子育て支援制度の理解度が増し、子育てをしたいと思う人が増えるのではないか。 ・ 他自治体の子育て支援制度についても調査することで、八戸市の子育て支援制度には何が足りないのか、また、何が必要なのか分かるのではないか。

学校	学科	班	各班のテーマ	各班の仮説
八戸商業高等学校 「あおもり創造学」 八商発！郷土愛 ～地域と共に～	商業科 3年2組	1	ブラックベリーの知名度を広めたい	・ブラックベリーを使用した商品の販売を行うことで、ブラックベリーの知名度が上がるのではないかな。 ・青森の魅力を伝えることができるのではないかな。
		2	地域のおいしいを広める！	・ジュースを使ったパンがあることをみんなは知らないのではないかな。 ・地域にあるお店と地域の特産品を使った食べ物を作れば広まるのではないかな。
		3	「ナニヤドヤラ」を広める	・ナニヤドヤラをしらない人が半数以上いるのではないかな。 ・ナニヤドヤラの広報活動を行うことで八戸の観光客が増え、若者たちが八戸に残ってくれるのではないかな。
		4	八戸SDGs 健はちグルさんぽ	・「SDGs de 地方創生」のカードゲームを行うことで、SDGsに対する知識、関心を持てるのではないだろうか。 ・八戸のウォーキングアプリ「健はちプラス」と連動し、食レポやごみ拾いの動画を作成することで、地域住民の健康促進やSDGsへの関心を高められるのではないだろうか。
		5	八戸の特産品を厳選して ドーナツを作り広めよう！	・八戸の特産物を使用することで知名度が上がるのではないかな。 ・食べやすい形にすることで子供からお年寄りまでの幅広い層で食べることができるのではないかな。 ・厳選した特産物を使用することで、その特産物に対する需要が高まり農業が安定するのではないかな。
		6	地元の果物の認知度を上げよう！	・八戸産の果物について宣伝することで認知度があがるのではないかな。 ・果物をスイーツとして販売することで幅広い世代に食べてもらえるのではないかな。

学校	学科	班	各班のテーマ	各班の仮説
八戸商業高等学校 「あおもり創造学」 八商発！郷土愛 ～地域と共に～	情報 処理科 3年3組	1	つながるまち、ひろがるバス	・バスの利点を生かしたイベントを開催することによってバスへの関心が高まるのではないかな。 ・バス利用の利便性を向上させる取り組みによってバスへの関心が高まるのではないかな。 ・バス停やバス車内を楽しく過ごせる取り組みによってバスへの関心が高まるのではないかな。
		2	八戸の人手不足解消 ～国際交流～	・八戸の伝統工芸品を通して文化の違いを理解し合えるのではないかな。 ・体験型イベントを開催し、交流の場を作ること、八戸市民の在留外国人への意識が高まるのではないかな。 ・在留外国人の雇用実績のある企業の情報や事例を共有することで、他企業の外国人雇用意欲が高まるのではないかな。
		3	リサイクルで繋ぐ人の輪	・高齢化が進んでいることで、ごみを捨てることができない高齢者がいるのではないかな。 ・リサイクルの仕方や資源ごみを回収している場所を知らない人が多いのではないかな。 ・ごみを再利用し資源ごみを減らす方法があるのではないかな。
		4	届けよう健康の声 ～肥満率を下げたい～	・子供の肥満率上昇をSNSで広めていけば、より多くの児童に認知されるのではないかな。 ・運動量の少ない子供はゲームの使用時間が60分を超えているのではないかな。 ・全国より青森県の平均肥満率が高いと知っていれば体重改善に努めているのではないかな。 ・運動頻度が少ないほど健康に対する不安を感じやすいのではないかな。
		5	八戸市の観光客を増やす ～八戸活性化のために～	・八戸の海岸で、夏秋にみちのく潮風トレイルを活用したイベントを開催することで、観光客が来てくれるのではないかな。 ・県外からの観光客（家族連れやカップル向け）は八戸市がどんな景色、場所なのか知らないから動画を作成し、広めることで八戸市に興味を持ってもらう人が増えるのではないかな。 ・八戸に来てくれた観光客はどこに行こうか迷うかもしれないから、自分たちで海岸周辺の日観光プランを考えたら観光客が気軽に訪れてくれるのではないかな。
		6	SNS依存解消 ～見すぎて人は壊れる～	・保護者のSNS利用率が低ければ、子供の利用率も低いのではないかな。 ・SNSを長時間使ってしまう小学生は、精神的な疲れや身体的な疲労を感じやすいのではないかな。
		7	釣り人を増やす ～地域の活性化を目指す～	・釣り未経験者に対して、釣りを行うきっかけを作ることによって釣り人を増やせるのではないかな。 ・街にイベントのポスターを張り、サイトを作成することで危険区域などの知識を増やすことができるのではないかな。 ・釣りのイベントを体験した人を対象にアンケートを実施することで釣り人が増えたか知ることができるのではないかな。

学校	学科	班	各班のテーマ	各班の仮説
八戸商業高等学校 「あおもり創造学」 八商発！郷土愛 ～地域と共に～	商業科 2年1組	1	朝市の活性化～日本のトップ3にはいる～	・JKがイマドキ風に発信したらバズるのではないかな。 ・朝市で活動するアイドルの知名度が上がれば、朝市自体の活性化にもつながるのではないかな。 ・朝市の開催時間を増やせば、観光客も行きやすくなるのではないかな
		2	中心街に人を集めたい	・イルミネーションイベントを開催すれば人が来てくれるのではないかな。 ・SNSやポスターなどを使って中心街のおすすめの店を紹介する。
		3	のんびりエリア ～誰もが不自由なく過ごせる街づくり～	・段差を少なくすれば、みんなが歩きやすくなるだろう。 ・スポーツなどのイベントを開催すれば、障害者や高齢者ともつながりを持てるのではないかな。
		4	三社大祭の後継者を増やそう！！	・皆が興味を持てるイベントを開催すれば三社大祭の後継者増加に繋がるのではないかな。 ・三社大祭の練習風景を動画にして発信すれば三社大祭に興味を持ってもらえるのではないかな。 ・踊りを実際に体験してもらえれば、三社大祭に興味を持ってもらえるのではないかな。
		5	人口減少	・魅力的な商業施設を作れば、若者を少しでも増やすことが出来るだろう。
		6	変幻自在！いちご煮	・いちご煮を知っていても実際に食べたことがある人は少ないのではないかな。 ・いちご煮と他の料理と組み合わせても美味しいのではないかな。 ・八戸の人にいちご煮を知ってもらうことで家庭でも食べる人が増えるのではないかな・

学校	学科	班	各班のテーマ	各班の仮説
八戸商業高等学校 「あおもり創造学」 八商発！郷土愛 ～地域と共に～	商業科 2年2組	1	中心街を活性化させ人を増やす。	・ イベントの宣伝をすれば中心街に人が集まるのではないかな。 ・ SNSを使えば若者に魅力を伝えられるのではないかな。 ・ 中心街に人が集まると八戸の伝統を知ってもらえるのではないかな。
		2	三社大祭の参加者減少	・ 若者の参加者が今より増加すると、さらに三社大祭が盛り上がるのではないかな。
		3	塩分が少ない八戸の食べ物を広めよう	・ 塩分が少ない八戸の食べ物を広めることで、八戸の平均寿命をのばすことに繋がるのではないかな。 ・ 八戸の食べ物を広めることで、八戸の知名度を上げられるのではないかな。 ・ 八戸の食を通して、八戸を知ることができるのではないかな。
		4	八戸の知名度魅力発信	・ SNSで動画などを発信したら、若者に八戸の魅力が伝わるのではないかな。 ・ 外国人の人が興味のある情報を発信したら、観光客が増えるのではないかな。 ・ 八戸の魅力を伝えたら、観光客だけでなく地域の人も八戸への関心度が高まるのではないかな。
		5	地域を盛り上げる「若者×伝統文化×商店街」づくり	・ 伝統文化をとり入れることで八戸の認知度を高めたり後継者が増えるのではないかな。 ・ 商店街を活性化することでU・Jターンする若者が増えるのではないかな。

学校	学科	班	各班のテーマ	各班の仮説
八戸商業高等学校 「あおもり創造学」 八商発！郷土愛 ～地域と共に～	情報 処理科 2年3組	1	ワインで地域活性化プロジェクト ワインを通して八戸の魅力を知ってもらい、特産物として広めたい。	・八戸ワインと南郷ワインの認知度が高くなれば八戸に興味を持つ人が増えるのではないかな。 ・八戸ワインをタイムカプセルを応用した販売方法を企画することで、興味を持つ人が増えるのではないかな。
		2	外国人も日本人も暮らしやすい環境づくり 日本に働きに来ている外国人と日本人の距離をもっと近くに。	・多言語サポートの充実をはかることで、八戸市にいる外国人が言語について困ることが減るのではないかな。 ・異文化交流イベントを開催することで、日本人と外国人がお互いの文化の理解を深められるのではないかな。 ・外国人向けの法的支援をすることで、日本で暮らす外国人の不安を減らせるのではないかな。
		3	本の利用者を増やそう 10代・20代の本離れを解消する。	・本を動画にすることで、読む手間が省け、紙の本より興味を引き、本に関心を持つ人を増やせるのではないかな。
		4	是川縄文館の来場者数を増やそう 是川縄文館の知名度を上げ、来場者数を増やしたい。	・是川縄文館の来場者数は、コロナ禍で一時的に減少したが、合掌土偶の魅力や地域の観光PRを強化すれば、再び平成23年度のような来場者数に近づくのではないかな。 ・合掌土偶は館内で最も人気が高いため、イベントの情報発信を行えば更に合掌土偶の知名度を上げられるのではないかな。
		5	うみねこを用いた経済波及効果 八戸のシンボルであるうみねこをもっと身近に感じてほしい。	・既存のマスコットキャラクターを活用し、グッズ販売や経済活性化を図り、収入をコラボ店舗に還元して持続的な効果を目指せるのではないかな。 ・うみねこをモチーフとしたゲームを作成し、そのゲームに関するグッズの販売を行うことによって利益を得ることができ、それを市に還元できるのではないかな。
		6	八戸市に映画館を 映画上映をきっかけに人が集まれる場所を作ること、若者の居場所づくりや地域活性化につなげる。	・八戸でも映画を観ることができる環境があれば人が集まる場所をつくれるのではないかな。 ・映画を見に来た人が気軽に立ち寄れる遊び場があれば、地域活性化に繋がるのではないかな。